

社馬連 第 66 号
平成 25 年 1 月 23 日

会員団体 各位

日本社会人団体馬術連盟
会長 菅原 俊之
(担当 競技委員会)

第 1 回 JBG チャレンジカップの開催について

平成 24 年度の当連盟の競技大会は、個人の最高峰を決定するとともに、ドレッサーージュ団体戦を行う第 31 回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルを残すのみとなりました。

今回、将来の全日本社会人馬術選手権大会出場を目指す選手層向けに、馬事公苑での競技会を体験し、今後の馬術技能の向上に繋げていただく目的で、標記大会を併催いたします。馬術の殿堂でもある馬事公苑での競技会を安価に経験できる貴重な機会となります。

各団体でおかれましては、練習に励み、今後の活躍が期待される選手へ積極的にお声掛けいただき、エントリーを勧めていただきますようお願いいたします。

なお、エントリーが多数の場合や募集人数に満たない場合は、主催者側で調整、中止等の判断をさせていただきますので、ご了承ください。

記

1. 大会名: 第 1 回 JBG チャレンジカップ
2. 主催: 日本社会人団体馬術連盟
3. 開催日: 平成 25 年 3 月 23 日(土) ~ 24 日(日)
4. 開催地: JRA 馬事公苑 (東京都世田谷区上用賀 2-1-1)
5. 競技内容: 別紙、実施要項を参照
馬場馬術競技 (23 日): 日本馬術連盟制定 馬場馬術競技 第 2 課目 2009
障害馬術競技 (24 日): 小障害馬術競技 70cm クラス
6. 出場資格:
 - (1) 大会開催時点で、本連盟の会員資格を持ち、以下の騎乗者資格を有すること。
 - ① 馬場馬術競技: 日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B'グレード、C グレード
 - ② 障害馬術競技: 日本社会人団体馬術連盟 騎乗者資格 B'グレード、C グレード

- (2) 過去に全日本社会人馬術選手権大会や全日本実業団障害馬術大会、およびそれに相当する大会に出場経験がないこと。
- (3) 将来、全日本社会人馬術選手権大会や全日本実業団障害馬術大会に出場する目標を持つこと。
- (4) 馬場馬術競技においては日本馬術連盟制定 馬場馬術競技 第2課目 2009 程度、障害馬術競技においては障害馬術 70cm 程度の騎乗技能を有すること。
- (5) 基本的な馬匹の馬装と手入れができること。
- (6) 何らかの障害保険に加入していること。

7. 出場料: 各競技 10,000 円

8. 募集人数: 各競技 8 名程度

原則として申し込み順としますが、第 50 回 全日本実業団障害馬術大会および同日程で開催される第 31 回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルの派遣役員・馬取扱者を優先いたします。

9. 申込方法:

別紙 参加申込書に記入の上、期日までに郵送またはメールにてお申込みください。申し込み締め切り後、応募人数に応じて調整を行い、2013 年 2 月 18 日(月)までに、エントリー通知のご連絡をいたします。

出場申込書 送付先:

日本社会人団体馬術連盟

〒104-0033 中央区新川 2-6-4 新川エフ2ビルディング 6 階

TEL: 03-3297-5630 E-Mail: shabaren@jbg.jp

10. 申込締め切り: 平成 25 年 2 月 11 日(月)

11. 出場料の納付:

エントリー通知を受領後、出場料をお振込みください。出場料の払い込みの確認をもってエントリー完了とします。期日までに出場料のお振込みがない場合、エントリーを取り消し、次点の方を繰り上げる場合がありますので、ご了承ください。なお、出場料振込み後の返金は致しません。ただし、主催者都合の場合はこの限りではありません。

(1) 出場料 振込先:

三井住友銀行神田支店 普通預金口座 1300690 日本社会人団体馬術連盟

(2) 振り込み期限:

2013 年 2 月 25 日(月)

12. その他

(1) 障害馬術競技での下見では、日本馬術連盟 障害馬術 1 級審判員・早稲田大学馬術部

監督 児玉 彰氏による下見のときに押さえるポイント、コース走行のアドバイスなどを受けることができる予定です。

- (2) 同日程で開催される第 31 回 全日本社会人馬術選手権大会 ファイナルの派遣役員・馬取扱者以外の方や応援の方などで昼食(弁当)をご希望の場合は、添付の申込書にて、お申し込みください。
- (3) 大会第 1 日目の 23 日(土)には、おなじく JRA 馬事公苑にて、日本社会人団体馬術連盟主催の馬術セミナーを開催する予定です。本大会と併せてご参加いただき、馬術により深く親しんでいただければと思います。

以上

コラム：社馬連のエントリー料は高い？安い？

社馬連の競技への参加費を高いと思いますか？安いと思いますか？

社馬連の競技会が他の主な馬術競技会と大きく違うのは、貸与馬による競技会ということです。ふつうの馬術競技会には自馬(実際には乗馬クラブから借りた馬の場合もあります)で出場しますが、社馬連の競技会では社馬連がまとめて乗馬クラブから馬をお借りして、選手に割り当てています。

右の表は、馬術競技会へ出場する場合の一般的な費用の一例です。

(乗馬クラブや馬の頭数などによって変わってきます)

このように、通常はかなり費用がかかることが分かります。

今回の社馬連のチャレンジカップでは出場料が10,000円です。

これには、借馬代や大会の運営経費なども含まれています。

なぜこんな値段で開催できるのかというと、

- ・社馬連の活動に賛同し、協力してくださる乗馬クラブがいて、そのクラブと信頼関係を継続的に築いているから
 - ・社馬連が一括して馬を借り、各団体から派遣される馬取扱とともに管理しているから
 - ・各団体から派遣される委員・役員によるボランティアで大会が運営されているから
- などの理由が挙げられます。

本人出場料	8,000円
借馬代	20,000円
馬運代	10,000円
資料・寝藁代	5,000円
指導料	5,000円
スタッフ騎乗料	10,000円
スタッフ出場料	8,000円
スタッフ日当	15,000円
スタッフ宿泊費	15,000円
合計	96,000円

通常ではありえない金額で出場できる貴重な機会ですので、ぜひ出場してみてください。

そして、乗馬クラブの協力・役員や馬取扱のサポートで成り立っていることに感謝を忘れないでください。